

# 市政ニュース

## 「神戸からやってくる女性をお出迎え」 「谷五郎と行く縁結びバスツアーin豊岡」開催

9月11日、本市とラジオ関西の共催で、恋活イベント「谷五郎と行く縁結びバスツアーin豊岡」を開催しました。

このイベントは「豊岡市地方創生総合戦略」の一環で行ったもので、本市の独身男性28人とラジオ関西が募集した京阪神の独身女性24人が、市内各所を巡りながら、カップル成立を目指しました。



▲和やかな雰囲気であった回転方式の自己紹介タイム



▲司会の谷五郎さん(左)とアシスタントの田名部真理さん

神戸から女性を乗せたバスが到着する前に簡単な会話テクニクを学んだ男性が、稲穂が美しい秋の神鍋高原で女性をお出迎え。自己紹介後のバーベキューランチでは、共同作業と谷五郎さんの軽妙なトークで、気になる人との距離も一気に近付きました。その後、カバンストリートに移動して、一緒にオリジナルコインケースを製作。城崎温泉ではドキドキのカップリング発表となりました。

結果は、見事8組成立！カップルにならなかった男女の中にも、その後の温泉街の散策で、仲良くなった人もいたようです。

## 「KDDIと協力し新たな観光戦略」 地域活性化を目的とした包括協定締結

9月21日、本市はKDDI(株)(東京都千代田区)と地域活性化を目的とした連携に関する協定を締結しました。

両者は、ビッグデータ(スマートフォンユーザーの位置情報等)から観光動態を分析し、本市の持つ観光資源を有効に活用した観光の活性化戦略を検討します。

また、auのネットショッピングサービなどで、クーポン

## 「夢を持ちふるさとの未来を担う城崎の子」 初開催！市立小・中学校合同運動会

9月17日、城崎中学校グラウンドで、小中一貫教育の取り組みの一つとして、城崎小学校と城崎中学校の合同運動会が開催されました。

市立小学校と中学校の合同運動会は初の試みです。小学生が一緒に参加した「台車でGO」では、中学生が小学生を台車に乗せ慎重に運んでいました。城崎地域の約220人の児童・生徒らが一堂に会した演



▲包括協定を結んだKDDI(株)副社長高橋 誠さん(左)と中貝市長



▲小学生と中学生が入り混じった「棒引き」

技に、地域の人から熱い声援が送られました。

### 「9月」主な市政の動き

#### 【9月】

- 12日・「但馬定住自立圏共生ビジョン」変更
- 16日・中華人民共和国香港特別行政区環境長官来訪
- 20日・日高地域災害警戒本部設置(20日・廃止)
- ・スマートフォンを活用し市広報紙等配信
- 21日・KDDI(株)と「地域活性化を目的とした連携に関する協定」締結
- 22日・「トヨタカウーマン・チャレンジマルシェ」開催
- 24日・「第23回ニューヨーク共同貿易日本食レストランエキスポ」出展(米国)
- ・「玄さん元気教室」100団体達成
- 25日・豊岡市図書館未来シンポジウム
- 29日・豊岡市地域福祉計画策定委員会
- 30日・豊岡市移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」公開
- 【10月】
- 1日・日本・モンゴル民族博物館開館20周年記念フォーラム
- 4日・台風23号メモリアル事業「メモリアル写真展」(30日)

## 豊岡で輝く女性起業家のPRイベント 「トヨオカ・ウーマン・チャレンジマルシェ」開催

9月22日、豊岡市民プラザで、豊岡で活躍する女性起業家や、これから起業を目指す女性を応援する「トヨオカ・ウーマン・チャレンジマルシェ」を開催しました。

このイベントは、男女共同参画社会推進の取組みの一環として初めて開催。手作り雑貨やフード店、絵付け体験ができる陶器店など、さまざまな業種の16店舗が並び、オープンから多くの来場者でにぎ

わいました。

また、会場内には、起業を考えている女性からの相談に応じる「出前チャレンジ相談」の他、マルシェ出店の女性3人が、自らの起業体験などを語る「ミニトークショー」、仕事・家事・育児をしながら活動する女性だけの吹奏楽団「Cherry blossom」の演奏会が開催されるなど、一日を通して豊岡で輝く女性が活躍する場となりました。



▲多くの来場者でにぎわったチャレンジマルシェ会場

## テーマ「モンゴルと日本、ひろがる交流の未来」 日本・モンゴル民族博物館20周年記念フォーラム開催

10月1日、但東町民センターで、日本・モンゴル民族博物館の開館20周年を記念して「モンゴルと日本、ひろがる交流の未来」と題した記念フォーラムを開催しました。

基調講演で、ソドブジャムツ・フレルバータル駐日大使は「モンゴルと日本は、頻繁に首相が相互訪問するなど、今後ますます交流は活発なものになる」と話しました。

パネル討論会では、この博物館が両国交流の国内拠点の一つとして、さらに永くあり続けるべきと結論付けました。

当日は、このフォーラムに合わせ来日した元・在モンゴル日本国大使館員で「モンゴル・豊岡シルクロード友好協会」理事長のサンジ・テムベレルさんとモンゴル国友好訪問団研修生ら8人も参加し、本市との友好を深めました。



▲フレルバータル駐日大使の基調講演

## 中貝市長の徒然日記 108

### コウノトリ大作戦！

アニメ映画「コウノトリ大作戦！」が11月3日から日本で公開になります。アメリカのワーナー・ブラザーズ映画の配給です。

コウノトリ宅配便社の配達係・コウノトリの「ジュニア」が会社は赤ちゃんの配達を禁止していますが、ひよんなことから一人っ子の家に届けることに。その大冒険の物語です。今年の7月、友人から映画の情報が入りました。なんと！主人公はコウノトリです。豊岡を売り込むチャンスですが、どうやって？

きつと監督とかが日本に来て、記者会見をするに違いはない。本場豊岡でやりませんか、と働きかけよう。監督に手紙を書こう。でも、どうやって本人の手に届くかな？と、あれこれ悩んでいるその時、大手広告代理店の方々が別件で豊岡にお越しになりました。で、彼らのネットワークで手紙を届ける方法がないだろうかと相談しました。

返事がきました。「なんと、日本でのプロモーションは、わが社が担当していました」そこからトントンとワーナー本社に話がつながり、協議の結果、相乗り広告をすることになりました。

井戸知事に話すと「県も相乗りさせてください」と。

ワーナーが提供する映像に豊岡の映像をかぶせて「但馬空港やJRを使つて本物を見に行こう！」というキャンペーンをやることになりました。首都圏の六つの映画館、大阪環状線などの近畿圏内のJR車内、日本航空の国内便やWEBで映像を流します。ポスター、チラシの他、コウノトリ育むお米のパッケージにも主人公と赤ちゃんの絵を載せてイベントなどに使います。テーマは「豊岡はずっと前からコウノトリ大作戦！」

ぼくは一足先に映画をニューヨークで見ました。原題は「Soylent Green」(コウノトリ)です。すっげえ面白くて、笑えて、登場する赤ちゃんたちがそれはそれはキュートで、最高にハッピーで、涙が出ました。ぜひぜひ、ご覧ください。